

中田かわら版 10月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<11>

藍綬褒章 井上 静子さん (89歳)

井上さんを語る時、民生委員・更生保護女性会などの要職を長く務め、その他福祉、人権問題まで広範囲な奉仕活動に対して、その功績をこのページだけでまとめるにはあまりにもスケールが大きすぎる。更生保護とは一口にいうが、並大抵な気持ちではできない仕事である。犯罪や非行をした人の社会復帰に対し必要な指導・支援を行う。更生保護女性会は女性の立場から地域の犯罪予防と犯罪を犯した人の更生支援活動、犯罪・非行のない社会の実現に取り組むボランティア組織である。直接お話を聞いて改めて偉大さを知ることになった。



昭和 26 年、東京から中田踊場に住んでおよそ 60 年。踊場は中田でも早く拓けたところだ。丘台にあり比較的裕福な人たちが別荘地として住むようになった。人家も増えてきたが夜道は街灯もなく住民には不便な毎日。見かねた井上さんは東京電力(東電)に掛け合い電球 200 個を貰い受け、自ら電柱に梯子をかけ 1 個 1 個取り付けた。実は井上さんは女性としては珍しい、東電も認めた電気工事人の資格を持っていたのである。

井上さんは東京麻布の生まれ。現在のアメリカ大使館の裏に屋敷があった。両隣りにはハーモニカの宮田東峰と中野清剛の邸宅があった。井上さんが中田に 転入する前、夫の勧めで一時、東京下町のある社宅に住んだことがある。井上さんが将来、人助けの仕事に就いた時、後学のためあえて社宅生活者との共同体験をさせるためと、後で知った。

終戦直後はどこでも貧しく、とりわけ食糧不足は深刻だった。この社宅も工場が不況で住人は食うにも困っていた。井上さんはある手づるで、パン工場から大量のパンを仕入れてきたり、日魯から魚をもらい配ったりした。お金を借りに来る人も多く、殆ど返済されることはなかったが、一度も催促はしなかった。

昨年(平成 24 年)、国は井上さんに藍綬褒章を贈り功労に報いた。更生保護の仕事で受賞するのは極めてまれである。もっとも井上さんの場合、遡れば終戦前後の日本の混乱期における活動を経て現在まで一貫して人のため、地域のために尽くしてきたといっても過言ではない。特に敗戦直後の活動はあまり知られていないだろう。当時、軍用部(霞ヶ関)の仕事に従事していた。8月15日(敗戦日)、自害した兵士の凄惨な現場を見たり、死体の処理までやったという。日本にも民主主義が導入され婦人の地位も上がり、組合活動もやった。公務員の登用試験に見事合格、わが国初の女性お役人・第1号になった。そうした奮闘ぶりを見て、あるアメリカ人将校から「なんて素晴らしい女性なんだ」と、ほめられたことも。

ところで、中田における各方面での活躍は、ご存知の通りだ。古くは白百合地区の乳幼児施設、母子寮、市営地下鉄の中田乗り入れ、二十日会、共働舎、踊場地域ケアプラザなどにかかわり地域の発展に大きく寄与している。また、中田には地域で活躍する素晴らしい女性が、なぜ多いのか考えたことがある。小島敏子、富田延江、木下良江、石井マサ子、加藤道子、村山節子(和泉町)さんらである。おそらく井上さんの背中を見て育った世代であり、ここにも人間・井上静子の存在が深く関係していると思う。踊場町内会長 28 年間務めたように、豊富な知識、役職は長期間やり抜くこと、妥協も辞さない強い意志、人にやさしく人を大切にし、長く付き合う。当然のように人脈は多い。こうした中、一番の思い出は、井上さんが尊敬する作家・五木寛之さんを立場地区センターにお呼びして講演を依頼したこと。その時の感動を今も忘れない。来年は卒寿。後輩たちが誕生日を盛大に祝う計画だ。(4面に関連記事) (編集委員、宮田貞夫)

～一人ひとりが CO₂ を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

11月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【中田連合文化祭】

日時：11月9日（土）17:00～18:00

11月10日（日）9:30～14:45

場所：中田小学校体育館・グラウンド

内容：体育館にて作品展示。グラウンドにて、模擬店やゲーム、マーチング演奏など。

【みんなで外で遊ぼう！】

日程：11月1日（金）宮の前公園

11月12日（火）しらゆり公園

11月22日（金）中田第5公園

時間：10:00～11:30

対象：未就学児親子

費用：無料

内容：公園で楽しい外遊びを行います。

主催：中田連合地区経営委員会

：しらゆり地区経営委員会

共催：地域子育て支援拠点すきっぷ

：中田・しらゆり子育てネットワーク

【白百合愛児園】～園庭解放～

木・土（第2週目から）

時間：10:00～11:30



保護司と更生保護女性会

「本当に大切なことは、罪や非行をした人が2度と過ちを繰り返さない環境づくり」であり日夜、献身的に活動をしているのがこういう人たちである。犯罪をした人たちの多くは生活や精神面で問題を抱えている人が多い。そのためにも社会全体が誠実に向き合い、見守り、支え合っていく精神や協力が重要である。

泉区保護司会（田中龍彰会長）には28人の保護司が活動。刑務所や少年院から出所し「保護観察」になった人の指導や相談など様々な支援を行う。泉区更生保護女性会（井上静子会長）にはおよそ200人（中田21人）が更生保護に携わり、女性の立場から女性の持つ暖かさを活かしたさまざまな活動を行っている。特に地域の犯罪予防や非行した人への支援活動は貴重なボランティア団体である。（宮田）

汲沢中「ボランティア・メイト」（Vメイト）

汲沢中学校（栗原史生校長）の[Vメイト]の活動は歴史も古く、地域では膾炙した存在である。それも地元をはじめ泉区内など広範囲の活動エリアでの活躍は、住民から愛され感謝されている。

今年の夏休中だけでも村岡川の清掃（7/23）を山百合自治会、泉区土木事務所と共同作業、30人が参加。猛暑のなか地元の人たちとの交流もできて、川も見違えるようにきれいになった。汲沢納涼祭（8/27）でも30人のメイトと同校ブラスバンド部が演奏参加。

葛野七町内会の盆踊り（8/4）、中田連合サマーフェスティバル（8/17）に生徒会役員、ベタニヤホーム（夕べの集い）にも8人がそれぞれ参加するなど、役割も多岐にわたっている。運動会の手伝い、清掃活動、模擬店の販売員、まつりの司会・進行係などだ。年間を通して軽スポーツ大会（障害者）、敬老会、文化祭にも積極的に活動している。

すばらしいのは生徒会、Vメイト、ブラスバンド部が連携し一体となって活動していること。「汲中はボランティアの生徒に支えられている」と栗原校長は彼らの行為を讃えている。若者たちが学校では体験できない貴重な経験を学んでいる。（編集委員・宮田貞夫）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！